

2024 年度公益社団法人乙訓青年会議所

主体者意識向上委員会 基本方針

主体者意識向上委員会 委員長 西條 利洋

委員会
設置背景

価値観が多様化したため、自身にとって必要性を感じる事ができないものへの関心が低下しました。それは同時に、地域コミュニティの必要性を実感する機会が減少し、自身の住まう地域に対しての関心が低下しています。地域への関心低下から生じる地域コミュニティの衰退により、市民生活に関わる地域課題が表面化することとなります。

よって、市民生活に直接関わる課題を解決できる市民主体のまちづくりは、積極的に展開される必要があります。

しかし、地域への関心の低下により、地域に対して主体的に行動できる地域市民を減少させることから、市民主体のまちづくり運動を生み出すことはできません。

今こそ、地域市民の当事者意識を呼び覚まし、主体的な人財を今後も生み出していかねばなりません。

委員会
設置目的

地域市民の地域に対する主体者意識を向上することを目的とする。

委員会
概要

1.1 月例会・新春交歓会の開催

メンバーや乙訓青年会議所に関わる全ての人びとが行動を起こせる主体的な人財となるよう意識を変えていく必要あり、1年間の方向性を示すために、決意を示し1年間の運動の方向性を認識して頂くことで、1年間の活用意欲の向上に繋がります。

2.8 月セミナー例会の開催

地域市民によるまちづくり運動を生み出すには、我々が模範となるべく、まちづくり運動の必要性を知り、地域に対して主体的な人財になる必要があります。メンバーの主体者意識向上のため、次世代育成事業において取り組んできた手法や効果を確認することで、人の主体性を高める方法を再認識します。

3.45 周年記念事業の開催

市民主体のまちづくり運動は地域に根差した課題を解決できることから、市民主体のまちづくり運動を生み出す必要があり、市民主体のまちづくりの重要性の認知度を向上するため、主体的に地域で活動をされている方々を紹介し、有識者が講演をすることで、地域の課題に向き合い、行動を起こす意識を醸成します。

4.次世代育成事業の実施(年間5回)

自身の住まう地域への関心が低下している中、地域に対する意識を幼少期から備える必要があり、地域に対して主体的に行動できる人財を育成するために、地域への興味や関心を抱ける機会と主体的に行動できる場面を創出することで、地域に対しての主体的に行動できる意識を向上させます。

委員会
活動方針

主体者意識向上委員会が中心になりメンバーだけでなく市民の意識を向上していくことで、市民主体のまちづくり運動を生み出すことを目指します。青年会議所が地域市民の主体者意識を向上することで、地域課題を解決できる地域を創出することができます。そのためにも、次世代の育成を通じて、『私たちの地域、私たちの未来』を担う市民一人ひとりの意識を向上していく必要があります。最後に、『私たちの地域、私たちの未来』を委員会方針に掲げ全力で走り続けていきます。

委員会

私たちの地域、私たちの未来

スローガン	
-------	--